



社団法人 企業メセナ協議会

100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2

第一鉄ビル1階

Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222

www.mecenat.or.jp



2008 - No. 03

2008年7月24日

企業メセナの新たな動き

## 広がる「次世代育成型メセナ」の取り組み

～子どもたちの創造力、コミュニケーション力を育む多彩なプログラムを展開～

本件は7月24日(木)17:00、文部科学記者会にて資料配布を行っています

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内1-8-2、会長:福原義春/理事長:福地茂雄)は、このたび「次世代育成型」のメセナ(芸術文化支援)活動の最新動向をまとめた。

### 「次世代育成型メセナ」の増加と、その背景

近年、次代を担う子どもたちや青少年を対象とする“次世代育成型”のメセナ活動が増えている。「メセナ活動実態調査」<sup>1</sup>では、メセナ活動で重視した点について34.3%の企業が「青少年への芸術文化教育」と回答。5年前より約10ポイント増加、10年前より25ポイント増加しており、次世代育成型メセナに対する企業の意識の高まりが顕著に現れている。

こうした動向の背景には、社会貢献の重点分野に「次世代育成」「教育」を掲げる企業が増えており、メセナ活動においても、共通するテーマのもとでプログラムが開発されることがあげられる。教育現場からの要請が増えたことも理由のひとつにある。「総合的な学習の時間」の導入で、自ら学び考える力や課題解決力を育むような創意工夫ある授業が求められるようになり、企業が提供するプログラムを選択肢に加える学校が増えた。「親・保護者」からの期待も高い。TOAが実施した意識調査<sup>2</sup>では、約8割の親が「企業による学校教育の支援活動」を「望ましい」と回答。学校教育にはないユニークな発想を企業に期待する声が多数聞かれた。

### 幅広い年齢層を対象に、多彩な手法で展開

“次世代”の年齢層は、乳幼児から小学生、中・高・大学生までと幅広い。0歳児から参加可能なコンサートなどもあり、子育て支援を含め、社会の多様なニーズに応えていることがわかる。芸術分野も、音楽、美術、演劇、映像、ダンス、伝統芸能と多彩だが、多くのプログラムに共通するのは、「子どもたちの創造力・コミュニケーション力を育む」「芸術文化に親しむ機会を提供する」「親子の対話を深める」等を主眼においていることである。

手法としては、企業側が学校に赴く“出張”授業やアウトリーチ、ワークショップの実施、学習ツールの提供(理解促進のためのパンフレットやガイド、新聞等の発行)、公演等の催しやゲネプロへの招待、公募・コンクールの実施、子ども向けの事業に取り組むNPOの支援などがあり、主体的で工夫を凝らしたプログラムが展開されている。

<sup>1</sup> 「メセナ活動実態調査」(2007、企業メセナ協議会)

<sup>2</sup> 「TOA 音楽と教育の意識調査」(2007、TOA株式会社:業務用音響機器・映像機器専門メーカー) 調査詳細 <http://www.toa.co.jp/news/070501.pdf>

### 「次世代育成型メセナ」にみられる新たな特徴

昨今の「次世代育成型メセナ」にみられる新たな特徴は、社会課題との連動、NPO等の専門組織との協働、経営資源の活用の3点である。「社会課題との連動」については、たとえば、父親の育児参加、環境問題、貧困・紛争地域の子どもたちの社会参加や自立といった課題に対し、従来の手法とは異なる、芸術文化的な切り口でアプローチするプログラムが生まれている。特徴の二つ目に「NPO等の専門組織との協働」があげられる。接点を持ちにくい学校でのメセナ活動や、より高度な専門性が必要な場合、その分野に習熟したNPOや地元の芸術文化施設などと連携してプログラムを行うようになってきている。3点目は「経営資源の活用」である。自社製品や機材の提供はもとより、社員の専門性(技術・知識)という最大の経営資源をプログラムにいかすメセナがみられるようになってきたことである

これらの特徴は、次世代育成型メセナだけにみられるものではないが、今後、次世代育成型メセナにおいても顕著になっていくものと考えられる。

(具体事例は別添資料等参照)

#### 学校教育現場からの期待

企業の教育貢献活動やアーティストとの連携授業に詳しい千葉大学の藤川大祐教授(教育方法学・授業実践開発)は、「目まぐるしく変化する社会では、テストの一定のパターンだけでできればいいという教育ではなく、いろいろな大人に接しながら自分を発見し、身体的感覚や対人コミュニケーション力や表現力を養い、できなかったことを自分でできるようにする学習能力をつけていく必要がある」とし、教育現場に、アーティストや企業メセナが参画する意義を指摘している。

企業メセナ協議会公開セミナー「子ども(次世代育成型)メセナを考える」でのレクチャー「最新教育現場事情、企業メセナに求められていること」より

企業メセナ協議会が6月30日に開催したセミナー「子ども(次世代育成型)メセナを考える」には、企業担当者、NPO、教育関係者、行政の文化担当など約100名が集い、いずれのセクターでも「次世代育成」に対する関心が高いことをうかがわせた。

社会のさまざまな要請を受け、「次世代育成型メセナ」は今後ますます増えていくと考えられる。企業メセナ協議会では、今後もその動向に注目し、「メセナ活動実態調査」や「メセナアワード」を通じて、引き続き全国の事例を収集していく考えである。

添付資料:「次世代育成型メセナ」の具体例一覧:本リリース配信にあたり、協議会会員から提供された情報。今夏開催されるものから通年のプログラムまで。

#### 【本件に関するお問合せ】

社団法人 企業メセナ協議会 広報担当:内田 / セミナー事業担当:若林・北村  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階 TEL:03-3213-3397  
FAX:03-3215-6222 URL: <http://www.mecenat.or.jp> E-mail: [mecenat@mecenat.or.jp](mailto:mecenat@mecenat.or.jp)

#### 社団法人 企業メセナ協議会

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主な事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及 2.情報集配 3.調査・研究 4.顕彰 5.国際交流 6.助成認定を行っている。会長:福原義春、理事長:福地茂雄、正会員149社、準会員39団体。(2008年6月現在)

#### 「メセナ活動実態調査」とは

(社)企業メセナ協議会が、全国の企業を対象に1991年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。メセナ活動の統計調査および事例収集を通じて、企業メセナの課題や展望を探る手がかりとする。2008年度調査結果は今秋発表

#### 「メセナアワード」とは

企業や企業財団による優れたメセナ活動を顕彰。「メセナ大賞」、「文化庁長官賞」の2部門からなる。「メセナアワード2008」選考結果は9月発表